

第211回:上海雑記

こないだグーグルを使って自分の氏名を検索したら、中国国営出版社の「人民中国」誌に載った懐かしい記事と顔写真が出てきた。10年くらい前、銀行の上海駐在員をしていたころ、人民中国誌が上海で暮らす日本人に対し実施したアンケートに基づく記事で、その題名は「だから上海が好き」。質問内容は①上海のここが好き、②この2-3年の上海最大の変化は？ ③上海の未来へ一言、④上海の好きなスポット。自分の記事だから遠慮せずに、まるまる引用してみよう。

氏名:杉野光男さん、履歴(略)、年齢(略)、職業(略)、上海駐在歴8年。以下回答。

- ①めまぐるしいスピードで発展・成長する上海には、古い中国と新しい中国が混在していて興味深い。未来に向かって走る人々の明るい表情を見るのも好きですね。
- ②90年代は浦東地区の開発ばかりがクローズアップされてきましたが、実は浦西の旧市街の近代化も凄いスピードで進んでいます。
- ③国際都市・上海の未来は、諸外国との交流にかかっています。香港があれほど成長したのも外国人にとって住みやすい街であったからです。投資環境をはじめ、居住、交通関係の整備がさらに進めば、ポテンシャルの高い上海はより魅力的な街になるでしょう。
- ④昼の外灘ですね。浦西を見れば、セピア色の歴史的建造物が保存されており、浦東を眺めれば、メタリックの近代高層ビルが林立し、まさに過去と現在が交錯しています。

嗚呼懐かしや。あの頃の筆者は中国に対しかくも好意的であった。いまとなっては内心忸怩たるものがあるが、質問③の回答で「上海の未来は諸外国との友好交流に掛かっており、中国の世界各国に対する心掛けが良ければ、その未来は明るい」と、ちゃんと条件付きで予測したつもりだ。

その上海を三年ぶりで訪れた。到着日以外は全て東道の主による手配となっており、事前に「昼間は街を存分に散策させてね。意見交換は夕方から何時まででも付き合うから。但し酒が入ったら野暮な話はしないよ」と云う約束だった。そんなわけで喜び勇んで上海に到着したのだが、最初の入国カウンターで躓いた。筆者の顔とパスポートの写真を照合するマシンが何度やってもエラーとなり、入国審査官から胡乱的な目つきで睨まれ、遂にその筋のリストに載ったのかとヒヤッとした。人民中国誌に写真が載ったころのパスポートだから、この10年ですっかり老人力がついたようだが、悪いのは中国の機械であって筆者ではない。審査官は最後に諦めたように判子を押してくれ、なんとか入国できた。

当日の夜は親しいチャイニーズ・アメリカンの友人が「慧公館」という広東料理屋でもてなしてくれた。この高級レストランは戦前の洋館を改装したもので、解放以前は上海の「黒社会」のボス黄金栄が情婦に与えた豪邸であった。いま上海では解放前の洋館を改造して租界時代の面影を再現したレストランが流行っているようで、慧公館とよく似たタイプの上海料理屋として、紹興路の「上海老洋房」が有名だが、ここは黄金栄と共にオールド上海の昼と夜を支配したマフィア杜月笙の第4夫人の自宅である。開発著しい上海で今なお歴史的建造物として保存を義務付けられている建物の多くが、旧軍閥やマフィアの豪邸であり、その中には本宅もあれば妾宅もある。いま中国で習近平・王岐山コンビが展開している腐敗追放キャンペーンで摘発さ

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

れた腐敗官僚のほぼ全員が愛人を囲っていたことが判明しているが、無理もないことだ。これって黄金栄や杜月笙どころか、周漢の時代からいまでも変わらぬ中国特権階級の特権なのである。

翌日からは招待先との公式活動が始まり、市内視察用にミニバスを用意してくれたのはありがたいが、筆者が希望したのはタウン・ウォッチングであってドライブではない。そこで特に許しを得て地下鉄にも乗せてもらったが、陸家嘴で下車するとき、筆者を押しつけて降りた老婦人のガラガラのキャリーバッグに思い切り足を轢かれてしまった。もちろんおぼさんの謝罪はなく、チラッと横目をくれ、「ケツ！」てな表情で歩み去った。痛む右足を押さえながら呆然とババアの後姿を眺める筆者に向かって、同行の二人(もちろん中国人)が「だから車で行こうと言ったのに」と、笑いを必死に堪えながら忠告してくれた。油断大敵、ここは敵地だった。いま上海の常住人口は2400万人と云う。路上が人と車で溢れかえっているのは当然だが、総延長距離が600キロに近づいている上海の地下鉄が朝も昼も夜も満員状態であったのには驚いた。

久々の上海だったが、いま猫も杓子も大気汚染だPM2.5だと大騒ぎしている上海の空は、決してきれいではないが、むかしと大差なかったように思う。スポンサーへの儀礼として少しは上海を誉めようと東道の主にそう告げると、どうやら皮肉と受け取ったらしく、慥然として「この数日間は最近には珍しく空気が澄んでいるのです」と答えてくれた。中国人も大気汚染には怒っている。

経済や政治の話題は別途報告するが、この3年のインフレ率が中国政府発表の2%や4%どころでないのは一目瞭然であった。貧富の格差は間違いなく拡大しており、そのなかで富裕層の購買意欲は旺盛だが、世界どこの国でも金持ちの方が貧乏人よりケチンボで、金銭感覚は鋭い。高級品を買うからには、一元でも安く且つレベルの高いものを買いたいらしく、高級カメラや高級車の類は国内より遥かに安価な海外で購入し、国内消費に貢献しないのが大きな問題だそう。

それはさておき、アンケート④で答えたように上海を代表する観光スポットと云えば、上海を東西に分かつ黄浦江に面した海岸通りの外灘(バンド)である。戦前はここに「第一次世界大戦戦勝記念女神像」が聳え立ち、日本軍が撤去するまでは国際都市上海のランドマークだった。ところで当たり前のことだが、「第一次大戦」と云う呼称は、第二次大戦が始まってから使われるようになった。名画「武器よさらば」や、「西部戦線異状なし」のなかのセリフに「大変だ！ 第一次大戦が勃発した！」なんて間抜けなセリフが登場するはずはない。尖閣方面波高しの日中関係だが、むかしの不幸な日中戦争が、後世「第一次日中戦争」と呼ばれないようにしたいものだ。今年はその第一次大戦勃発100周年である。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年3月26日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。※消費税率が8%となった場合は「最大1.2420%(税込み)、最低3,240円(税込み)(売却約定代金が3,240円未満の場合、約定代金相当額)」となります。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。※消費税率が8%となった場合は「最大0.8640%(税込み)」となります。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。※消費税率が8%となった場合は「最大0.0864%(税込み)」となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。※消費税率が8%となった場合は「最大4.320%(税込み)、最低2,700円(税込み)」となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。